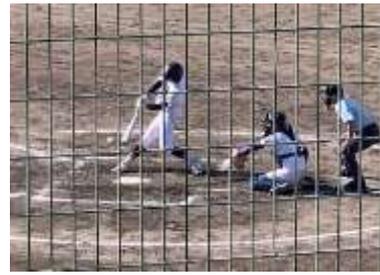


10月29日は近畿高校野球が和歌山県紀三井寺野球場で行われ、本校は奈良県1位の天理高校と対戦しました。先発は



高橋投手で、必勝を期して臨みました。3回に本校が先制し、6回にも追加点を挙げ、好調な出たしていましたが、その裏1点を取られ、2-1の緊迫した状態になりました。7回表の攻撃は四球と長打がかみ合い打者1巡の猛攻で7点を挙げ、このまま逃げ切るかと思われたところ、天理高校のしぶといバッティングに乱打戦となり、7



回以降は点の取り合いになりました。本校は最後まで良い緊張感を保ち13-7で快勝。翌日につなげました。30日は和歌山県1位の智辯和歌山高校との対戦。観客は地元だけに圧倒的に智辯和歌山の応援が多く、どうなるかと思われた最初の相手の攻撃で、福田投手がいきなり連打

され、早々に1点を献上。その後を受けた山本投手(秋以降初登板)もおさえられず、連投となる高橋投手が登場。初回を何とか2点に食い止めたものの、その後もバッティング好調の智弁和歌山打線に捕まり、2回に2点、4回にホームラン2本を含む3点を取られ、一気に0-7とされました。本校の攻撃もよく粘ったのですが、相手投手の好フィールディングや外野手のファインプレーに阻まれ得点をする事ができないという本校にとっては不運も重なり、7回コールド負けとなりました。しかしながらこの1戦で学んだことは大きく、今年の夏の甲子園優勝校の仕上がり具合を見ることができ、こういったチームが全国優勝できるというのは実感できたと思うので、この冬の練習で一人ひとりがその意識をしっかりと持って取り組めれば、チャンスは出てくると思います。今の3年生は昨年秋優勝、今年夏の甲子園出場という扉を開けました。新チームは19年ぶりに近畿大会1勝という扉を再び開けましたので、次の扉をまた開けて欲しいと思います。部員の皆さん、関係者の皆さんお疲れ様でした。(神戸新聞運動面掲載記事も紹介しておきます。)

ソフトテニス部は個人県新人戦に臨み、女子の中谷・工藤ペアがベスト32に入ったという報告を受けました。ソフトテニスの場合はここからは私学をはじめとする強豪校との対戦が目白押しですので、この壁を突破するのが一つ目標となるのですが、そこまで来たということでよく頑張りました。4日の団体に繋がると思います。お疲れ様でした。一方男子は2ペアがチャレンジしましたが、思っていたような成績は残せなかったようです。団体では気持ちを切り替えて頑張ってください。



さて、いよいよ11月に入り、生活科学科では恒例のバスツアーの企画運営が佳境を迎えています。今年は11月19日・20日の2日間。概ねプログラムの大きな変更点はないようですが、それでも3年生の地方創生班を中心として、お客様に喜んでもらおうと現在企画中です。この本校でのツアー企画は5回目になるのですが、昨年度赤穂高校が取り組み、今年度は篠山鳳鳴高校が取り組むなど広がりを見せてきています。高校が果たす役割としての地域連携を今後も大切にしていきたいですね。

それでは朝夕の寒暖差はまだまだ大きいので体調管理に気をつけて、更に感染防止対策に努めましょう。